

栃木県エコライフ ネットワーク「とちぎ」

団体紹介

地球に負荷の少ない持続性のある「エコライフ」を、県民・団体・企業・行政が一体となり広く普及し、全県的に確立することとして平成12年にスタートした団体です。県内の消費者団体が中心となり、県の指導の下で立ち上げ、その実現に向けて啓発活動、協働、ネットワークの構築を推進しています。

○主な活動内容

- ・エコライフ地域交流会（那須塩原市（2回）、日光市、小山市（2回）、益子町、野木町、芳賀町、市貝町他10市町）
- ・企業訪問、講演会、農場研修（宇都宮大学農学部附属農場）
- ・イベント参加（那須塩原市、小山市、宇都宮市）

○構成団体

エコネットかぬま、県生活衛生同業組合協議会、県生活協同組合連合会、とちぎコープ生活協同組合、那須塩原市生活学校、岩下食品株式会社、日産自動車株式会社栃木工場、平成理研株式会社、栃木県、小山市、栃木市、日光市、那須塩原市

宇都宮環境学習
センターエコまつり



小山エコ
リサイクルフェア



エコライフってなんのこと？

心豊かに安心して暮らせる持続可能な社会づくり

みんなで心がけようエコライフ



- ・エアコンは冷やしすぎや、暖めすぎに注意する
- ・家電製品を買い替える際はエコ家電を検討する
- ・家の証明はLEDに
- ・夏は室温28℃、冬は室温20℃に
- ・買物はエコバック
- ・必要な食材だけ買う
- ・食べ残しを減らす
- ・エコカーを選ぶ
- ・エコドライブを心がける
- ・地産地消を心がける

脱炭素社会の実現に向けて

私たちは、毎日の生活の中で、二酸化炭素(CO₂)を排出しております。産業革命以降で世界の平均気温は1℃上昇しております。このまま温暖化が進めば、海面上昇や洪水による被害、干ばつによる食糧不足、生態系の破壊などさまざまな影響が広がります。

温室効果ガスの排出を減らすために2015年に国際的な取り決めが話し合わせ(パリ協定)、日本では2050年までに温室効果ガスの排出を0にする取り組みが行われています。地球温暖化は、世界中のみんなが取り組み実現させなければならない目標です。

